

(新) 持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議

107百万円 (0百万円)

総合環境政策局環境教育推進室

1. 事業の必要性・概要

2002年に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルクサミット）において、我が国の小泉首相（当時）から国連「持続可能な開発のための教育の10年（DESD）」について提案し、同年の第57回国連総会において、2005年から始まる10年を、国連DESDとすることが決議された。

これを受け、国連DESDの最終年である2014年に、日本政府とユネスコの共催で愛知県名古屋市及び岡山県岡山市において、「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催される予定となっている。

2. 事業計画（業務内容）

2014年11月に開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」において、名古屋市で開催される閣僚級会合では、テーマ別分科会として、環境教育関連公式行事を開催するとともに、岡山市では、国連大学と連携して開催する「RCE（Regional Centers of Expertise on ESD）グローバル会議」を開催し、環境教育分野を中心としたESDの更なる普及促進を図る。

3. 施策の効果

2014年11月に愛知県名古屋市及び岡山県岡山市において、日本政府とユネスコの共催で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」におけるテーマ別分科会やRCEグローバル会議の充実と確実な実施が図られる。

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議

平成26年度予算（案）額 107百万円（0百万円）

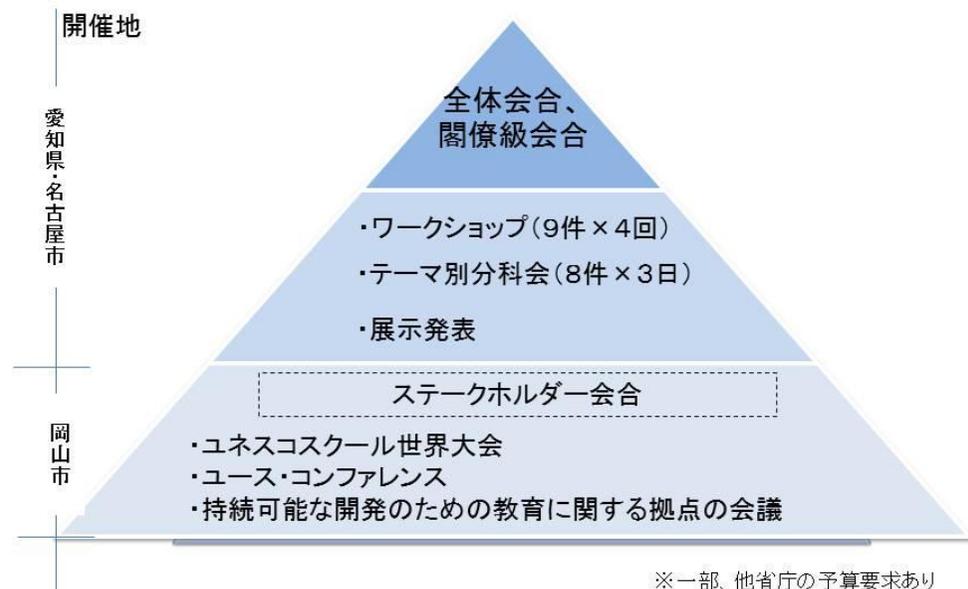
事業概要・目的

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催経費。「国連ESDの10年（2005（平成17）年から2014（平成26）年）」の活動を総括し、2014年以降も国内外においてESDを更に推進することを目的とする。

期待される効果

- 「国連ESDの10年」の提案国として本会議を開催することで、国外におけるESDの推進と、日本のユネスコ加盟国に対するプレゼンスの向上が期待される。
- ESDは、教育振興基本計画等にも盛り込まれている重要な概念であり、本会議の開催を通じて国内でのESDの推進が期待される。

会議構成



会議日程等

区分	場所	日時	説明
閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合等	愛知県 名古屋市	2014(平成26)年 11月10～13日	1,000名の参加者を伴う日本政府及びユネスコ主催の世界会議
ステークホルダーの主たる会合	岡山県 岡山市	2014(平成26)年 11月4～8日	閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合等に意見を反映させる3つの会議 ①ユネスコスクール世界大会（11月6～8日） ②ユース・コンファレンス（11月7日） ③持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議（11月4～7日）